

当院採用のJAK阻害薬一覧 ver2.0

★適応症や用法・用量など最終確認は添付文書でお願いします★

※JAK : Janus kinase (ヤヌスキナーゼ)

一般名		ルキソリチニブ	ペフィシチニブ	トファシチニブ	フィルゴチニブ	バリシチニブ	ウバダシチニブ	アプロシチニブ	リトレシチニブトシル酸塩	デュークラバシチニブ	デルゴシチニブ			
商品名		ジャカピ錠	スマイラフ錠	ゼルヤンツ錠	ジセラカ錠	オルメント錠	リンヴォック錠	サイバインコ錠	リットフォーロカプセル	ソーティクツ錠	コレクチム軟膏			
採用規格		院内採用	院外採用		院外採用		院外採用		院外採用		院外採用			
薬価		4,074.2円/錠	1,315.3円/錠	2,575.8円/錠	2,260.9円/錠	2,141.9円/錠	4,159.6円/錠	2,300.0円/錠	4,483.7円/錠	7.5mg 2,205.4円/錠 15mg 4,325.8円/錠 45mg 8,226.0円/錠	50mg 2,199.3円/錠 100mg 4,287.4円/錠	50mg 患者限定 5,802.4円/個	6mg 2,770.9円/錠	0.25% 137.6円/g 0.5% 143.0円/g
効能効果	① 骨髄線維症	○												
	② 真性多血症	○												
	③ 造血幹細胞移植後の移植片対宿主病	○												
	④ 関節リウマチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑤ 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎								○					
	⑥ 関節症性乾癬								○					
	⑦ X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎								○					
	⑧ 強直性脊椎炎								○					
	⑨ 潰瘍性大腸炎			○	○	○	○	○	○					
	⑩ クローン病								○					
	⑪ アトピー性皮膚炎							○	○					○
	⑫ 円形脱毛症							○		○				
	⑬ 尋常性乾癬										○			
	⑭ 膿疱性乾癬										○			
	⑮ 乾癬性紅皮症										○			
	⑯ SARS-CoV2による肺炎							○						
用法		1日2回、12時間毎を目安(③減量時1日1回又は2回)	1日1回、食後	1日2回(減量時1日1回又は2回)	1日1回	1日1回	1日1回	1日1回	1日1回	1日1回	1日1回	1日1回	1日1回	1日2回
禁忌	血球数	該当なし	・好中球数<500/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL	・好中球数<500/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL	・好中球数<1,000/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL	・好中球数<500/mm ³ ④⑤⑩⑫: ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL ⑩: ・リンパ球数<200/mm ³	・好中球数<1000/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL	・好中球数<1,000/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL ・血小板数<50,000/mm ³	・好中球数<1,000/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL ・血小板数<100,000/mm ³	・好中球数<1,000/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL ・血小板数<100,000/mm ³	・好中球数<1,000/mm ³ ・リンパ球数<500/mm ³ ・ヘモグロビン値<8g/dL ・血小板数<100,000/mm ³	該当なし	該当なし	
	肝機能・腎機能	該当なし	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害 ・末期腎不全(eGFR<15)	④⑤⑩⑫: ・重度の腎機能障害(eGFR<30) ⑩: ・透析患者又は末期腎不全(eGFR<15)	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害	・重度の肝機能障害	該当なし	該当なし
	その他(過敏症の記載は省略)	・妊婦又は妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性 ④⑤⑩⑫: ・重篤な感染症	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核 ・妊婦または妊娠可能性	・重篤な感染症 ・活動性結核	該当なし
減量基準	・強いCYP3A4阻害薬併用時(減量考慮)	・中等度の肝機能障害	・中等度以上の腎機能障害 ・中等度の肝機能障害 ・CYP3A4阻害薬、フルコナゾール併用時	・中等度以上の腎機能障害(eGFR<60)	・中等度の腎機能障害(eGFR<60) ・プロベネシドと併用時	⑩⑪⑫: ・重度の腎機能障害 ・強いCYP3A4阻害薬併用時	・腎機能障害(eGFR<60) ・強いCYP2C19阻害薬併用時	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
併用注意(免疫抑制作用増強に関する記載は省略)	・CYP3A4(及びCYP2C9)阻害薬 ・CYP3A4誘導薬	・肝機能障害を起こす可能性のある薬剤	・CYP3A4阻害薬 ・CYP3A4誘導薬 ・フルコナゾール ・肝機能障害を起こす可能性のある薬剤	該当なし	・プロベネシド		・強いCYP2C19阻害薬 ・CYP2C19及びCYP2C9誘導薬 ・P糖蛋白の基質薬 ・クロビドグレル	・CYP3A4基質薬 ・CYP1A2基質薬	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
備考	・血球数、総ビリルビン(③のみ)に応じて用量調節または休薬が必要(適応ごとに基準は異なる) ③:12歳以上の小児に適用あり	・好中球が継続して500~1,000/mm ³ である場合は1,000/mm ³ を超えるまで投与中断	・好中球が継続して500~1,000/mm ³ である場合は1,000/mm ³ を超えるまで投与中断	・主にカルボキシエステラーゼ(CES)2及びCES1により代謝され、添付文書上、併用注意薬剤が設定されていない	・好中球が継続して500~1,000/mm ³ である場合は1,000/mm ³ を超えるまで投与中断	・好中球が継続して500~1,000/mm ³ である場合は1,000/mm ³ を超えるまで投与中断 ⑤⑩:2歳以上の小児に適用あり ⑩:レムデシビルと併用し、総投与期間は14日間まで ⑩:経口投与が困難な場合、懸濁させた上で経管投与を考慮可	⑩:12歳以上かつ体重30kg以上の小児に適用あり	・CYP2C19に対し阻害作用を示す ・12歳以上の小児に適用あり	・12歳以上の小児に適用あり	・12歳以上の小児に適用あり	・12歳以上の小児に適用あり	・12歳以上の小児に適用あり	・12歳以上の小児に適用あり	・12歳以上の小児に適用あり